

30年度補正

ものづくり
技術

インフラテック株式会社



高精細3Dプリンタ導入によるインフラ整備に貢献する商品開発のプロセス強化



インフラ整備に貢献する「インフラパーツ」

商品開発の効率化を図るために



従来の試作、検証状況

当社の主力商品であるプレキャストコンクリート製品は主に公共工事で使用されている。その開発現場では、接合部の有効性や施工現場での安全性などを確認する必要があり、これまでは実物大の試験体で実験を繰り返してきた。しかし、そのほとんどが大きな製品のため、試作に必要な型枠の製作費や製造に多くの時間とコストを要していた。また、形状確認後に改良が必要な場合も多く、開発工程の長期化やコスト高騰が課題であった。

こんな会社です

インフラパーツの創造を通して、これからも社会に貢献していきます

当社は、昭和31年に鹿児島県で創業し、同38年から主力商品であるプレキャストコンクリート製品の開発・製造・販売を開始しました。今現在関連会社を含め、全国に27工場・39営業所を有し、日本全国の社会基盤整備に貢献しています。総合技術研究所には、開発・技術のスタッフが24名在籍しています。今回のものづくり補助金の活用により、当社の開発力・技術力をさらに強化することができました。これからも新たな商品開発を通して、さらなる社会貢献と地域経済の活性化につなげていきたいと思っています。



開発課のスタッフ

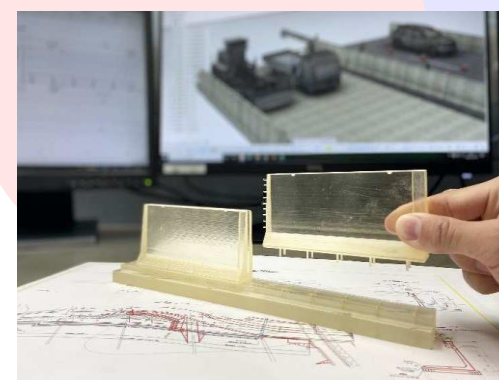
高精度3Dプリンタを導入し商品開発のプロセスを強化した

今回導入した高精度3Dプリンタは、積層ピッチが15 μ mの高精細造形が可能で、縮小モデルでの嵌合（かんごう）や細かな検証もできる。そのため、試作製作や検証に関わる時間やコストも大幅に削減することができるようになった。また、これまで行っていた実物大での検証には、場所の確保や重機の手配が必要で、さらに天候にも左右されていた。事前に縮小模型で試作品の改良を行うことで、商品開発サイクルを大きく改善することができた。



製作風景

全部門での商品開発への取り組み、独創的なアイデアを形にする



縮小模型

高精度3Dプリンタでいくつかの 패턴の試作模型を製作し検証を重ねることで、事前に問題点を解消することが可能となり、最適な形状の決定がよりスピーディに行えるようになった。また、縮小模型があると、製造方法や運搬方法、施工方法など、各工程ごとの作業イメージが湧きやすく、各部門ごとにいろいろなアイデアが出るようになり、商品開発の活性化にもつながっている。

安全・安心な暮らしを実現するため新たな商品を開発していく

開発プロセスを効率化することで、市場にタイムリーに多くの商品を投入することができるようになった。災害時など緊急を要する場合には、状況に適した製品をいち早く納品する必要があるため、今回の効率化によりそれが実現可能となった。また、モックアップ（模型）により製品の特長が伝わりやすくなり、お客様とのコミュニケーションも円滑になったと感じる。お客様との会話の中で新たなニーズを引き出し、より多くの商品を開発していきたい。



実物大による最終確認試験

info

インフラテック株式会社
代表取締役社長 松崎 秀雄

事業実施場所
〒899-5652
鹿児島県始良市平松3141-1
TEL 050-3085-9434
FAX 0995-55-1070
<http://www.infratec.co.jp>

設立 昭和31年6月
資本金額 7,300万円
従業員数 655名
業種 窯業・土石製品製造業



社屋